

どこでもドラえもん 日本旅行ゲーム

日本旅行ゲーム
どこドラ10ゲーム
どこドラカードゲーム

「どこでもドラえもん」とは・・・

どこでもドアを使って、全国各地に出かけたドラえもんが、その土地の有名な・お祭り・食べ物・名所・伝統芸能などをモチーフに変身したのが、「どこでもドラえもん」です。

いろいろな「どこでもドラえもん」の商品がありますので、みんなの住んでいる所や、旅行に行った先のお店で探してみてね!!

どこでもドラえもん商品の情報は、インターネットでご覧頂けます。
エポック社のホームページからアクセスしてね!

<http://www.epoch.gr.jp/>

取扱説明書

対象年齢6才以上
プレイ人数：2人～4人

(使用上の注意)

- 破損、変形などの原因になりますので、ボードやカードなどには、無理な力を加えないでください。
- 高温・多湿の場所や直射日光が当たる場所での使用や保管は行わないでください。

注意 (ちゅうい)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 遊んだ後は、床などに放置せず、3才未満のお子様の手が届かない所に保管してください。

ドラえもん
©Fujiko-Pro, Shogakukan, and TV-Asahi

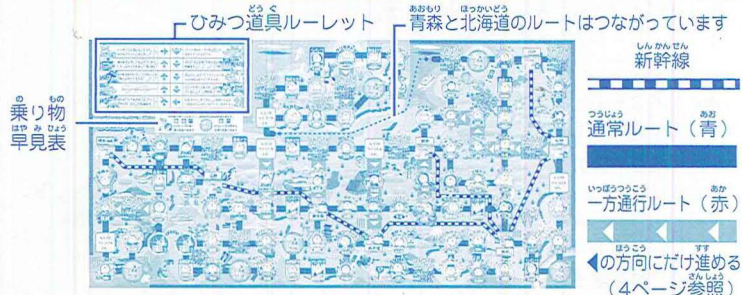
セット内容

- ①ボード.....1枚
- ②どこドラカード.....66枚
- ③コマ.....5コ
- ④サイコロ.....1コ
- ⑤取扱説明書.....1枚
- ⑥カードゲーム用説明カード.....4枚

※白いカードは予備のカードです。ゲームには使用しません。



ボードの名称



どこドラカード

「どこドラ」には、その場所できしか集められない「どこドラ」と、数カ所で集められる「売場限定どこドラ」の2種類があります。

どこドラのタイプ (※空、山、祭、人物、動物、食、水の7タイプがあります。)

※LV.の数字は、日本旅行ゲームでは使用しません。
どこドラ10ゲーム、どこドラカードゲームで使用します。



イラストコンテスト最優秀作品のカード (12枚) は、2004年の夏に下記の (株) 小学館発行の雑誌12誌上で、読者の皆様から募集したものです。

コロコロコミック・ぼくドラえもん・小学一年生・小学二年生・小学三年生・小学四年生・小学五年生・小学六年生・めばえ・幼稚園・学習幼稚園・てれびくん

※イラストコンテスト最優秀作品の、御当地限定グッズは商品化されておりません。(2005年1月現在)

日本旅行ゲームの遊び方

飛行機・新幹線・船などをうまく使って、プレイ人数：2人～4人
全国各地の「どこでもドラえもん」(どこドラ) を早く8枚集めよう!

ゲームの準備

●ボード

- ①ボードを広げ、平らな場所の上におきます。
- ※ボードの素材は紙ですので、温度や湿度により、「そる」ことがあります。
- そのときは、平らになるように、手で修正してください。

●どこドラカード (どこでもドラえもんカード)

- ②全ての「どこドラカード」を裏にしてよく混ぜ、ボードの外に裏向きのまま山にしておきます。
- ※予備カード (白) ・カードゲーム用説明カードは使用しません。

●コマ

- ③自分がプレイするコマを1つ選びます。
- 残りのコマから1コを、ボード左上の「ひみつ道具ルーレット」のスタートマスにおきます。
- これは「ひみつ道具ルーレット専用コマ」になります。

●プレイの順番とスタート地点の決め方

- ④ジャンケンで1番の人を決めます。以後、プレイの順番は、時計回りで進めます。

- ⑤1番の人から、「どこドラカード」を山の上から1枚だけ取ります。
- そこに書かれている「どこドラ」のマスが、自分のスタート&ゴール地点になります。
- (つまり、スタート&ゴール地点は、全員違う場所になります)

- ⑥その「どこドラカード」は手元においておき、自分のスタート地点の証拠にします。
- (以後、スタートカードと呼びます)
- このスタートカードは、集める「どこドラカード」には含まれません。
- スタートカードの他に「どこドラカード」を8枚集めればゴールできます。

- ⑦自分のスタート地点のマスにコマをおいて、ゲームスタートです。

※「売場限定どこドラ」がスタートカードのとき、ボード上には、そのどこドラのマスが2～3ヶ所あります。その中のどこからスタート&ゴールしてもかまいません。

例えば、連動ドラがスタートカードのときに、大阪駅からスタートしても、東京駅・名古屋駅・大阪駅のどこにゴールしてもOKです。

※スタートカードは山にもとしたり、相手に取られることはありません。

ゲームスタート

どこドラカードをめくって、集める「どこドラ」を決めよう!

- ①山になっている「どこドラカード」を上から3枚めくり、ボードの外(場)に、表にして並べます。(これを「場におく」といいます。)



最初の目的地は、この、場におかれた3枚の「どこドラ」だけです。

同じ「どこドラ」のマスに行って、他の人より早くカードをGETしましょう!

- ②サイコロをふって出た目の数だけ移動します。
- 好きなルートを進むことができますが、1回の移動で同じルートを往復したり、同じマスに止まることはできません。
- ※マスには、他のプレイヤーのコマがいても止まることができます。
- ※めくられていないマスは普通のマスとして数えます。

＜ルートは2種類＞

- 「青いルート」は好きな方向へ進むことができます。
- 「赤いルート」は▲の方向への一方通行です。逆に進むことはできません。但し、同じタイプ (山、祭など)、または同じカードの色 (7つの地方・売場限定・イラストコンテストの9種) のいずれかで4枚以上揃えると、特別プレゼントとして、逆に進むことができます。

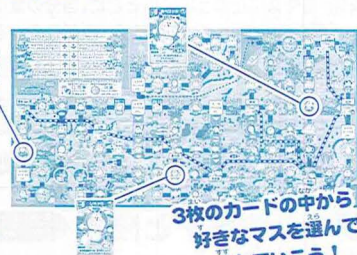
※カードを取られたりして、3枚以下になったときは、逆に進むことはできません。

※ふたたび4枚になれば、逆に進めます。

- ③場にある「どこドラカード」と同じマスや、「駅」「空港」「港」は、サイコロの目の数があっても、ストップできます。

- ④サイコロで「ひみつ道具」が出たときは、「ひみつ道具ルーレットマス」と同じ指示です。(5ページ参照)

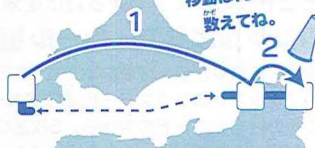
- ⑤指示に従ったら、自分の番は終わりです。次のプレイヤーに順番が移ります。



●例：サイコロで「3」が出たとき



移動は1つとして数えてね。



※「北海道」↔「青森」はルートがつながっています。1マスの移動として数えます。

マスの種類

〈ひみつ道具ルーレット〉

- このマスに止まったり、サイコロで「ひみつ道具」が出たときは、もう一度サイコロをふり、出た目の数だけボード左上の「ひみつ道具ルーレット」においてあるコマを進めます。そのコマが止まった指示に従います。
- ※サイコロで「ひみつ道具」が出たときは、ひみつ道具ルーレットを6マス進ませます。



〈ひみつ道具マスのうち、次のマスについては追加説明をします。〉

【逆時計】〔わすれトンカチ〕

持っているどこドラカードが無いときは、1回休みです。スタートカードは、もどしません。

【台風発生時】

場にある3枚のどこドラカードだけ、山の下にもどします。手持ちのカードは、もどしません。

【全員でジャンケン】

一番負けた人が、どこドラカードを持っていないときは、その人が1回休みになります。スタートカードは渡しません。このとき、一番勝った人は、なにもありません。

【わかい星】

場から1枚もたらしたら、山の上から1枚めくって場に加え、3枚にします。

〈もう1回サイコロをふる〉

- もう一度サイコロをふり、出た目の数だけコマを進ませ、止まったマスの指示に従います。

〈どこドラのマス〉

【場の「どこドラカード」と同じマスするとき】

- 数があってもストップすることができます。ストップしたら、場におかれている、マスと同じ「どこドラカード」がもらえます。
- ※このように、場の「どこドラカード」が減ったら山の上から1枚めくり、場の「どこドラカード」に加えて3枚にし、次の目的地となります。



【めくられている「どこドラカード」と違うマスのとき】

- 何もありません。指示の無いマスになります。

『駅』『港』『空港』は、サイコロの数が余ってもストップできる! (ただし、新幹線・船・飛行機に乗るときだけです)

※乗らないときは、指示の無い普通のマスと同じです。

〈駅・港マス〉

- もう一度サイコロをふり、乗れるかどうかチャレンジします。が出れば、次の駅・港（点線の先）のマスに移動できます。移動したら、自分の番はそこで終わりです。
- のときは、移動することはできません。自分の番はそこで終わりです。
- ★駅・港マスに止まっているときに、自分の番になったときは、「乗る（チャレンジする）!」か、「乗らない（ルートを進む）!」のどちらかを宣言してから、サイコロをふってください。

〈空港マス〉

- チャレンジのしかたは、〈駅・港マス〉と同じです。が出れば、他の好きな空港に移動できます。移動したら、自分の番はそこで終わりです。
- ※サイコロをふってから、乗るかどうかを決めてはいけません!

ゲームの終了と勝敗

- 一番早く8枚の『どこドラカード』を集め、自分のスタートマスにもどったプレイヤーの勝利です。2位以下は、集めたどこドラカードの枚数で決めます。
- ※ゴールは、サイコロの目の数があっても止まることができます。
- ※集めたどこドラカードの種類は、勝敗には関係ありません。
- ※自分のゴールに止まっているときに、カードが8枚そろっても、勝ちになります。

5

どこドラ10ゲームの遊び方

必要なもの：どこドラカード66枚・

どこドラ10ゲーム遊び方カード

プレイ人数：2人以上

自分のどこドラカードをどんどん出していき、LVの数の合計が『10』に近い方が勝ちなんだ! でも、『11』以上になると負けになるから、気を付けてね。

ゲームの準備

- ①「どこドラカード」を裏向きのままよくまぜ、全員に3枚ずつ配ります。残りの「どこドラカード」は山にして、じゃまにならない所においておきます。
- ②ジャンケンで1番の人を決めます。以後、プレイの順番は、時計回りで進めます。
- ③1番の人から順番に、山から1枚めくり、自分の前に表にしておきます。

ゲームスタート

自分が出したこの「どこドラカード」と手持ちの「どこドラカード」のLVを足して、数が大きい方が勝ちだよ! 『10』が最強なんだ!!

- ①自分の番がきたら、自分が表にして場に出した「どこドラカード」のLVを見ます。そして、手持ちの3枚の「どこドラカード」の中から好きな「どこドラカード」（足して『10』に近づけるような「どこドラカード」）を1枚選び、裏向きにしてカードのとなりにおきます。
※裏向きにするのは、相手に、いくつになるのか、わからないようにするためです。
※手持ちのどのカードを足しても『11』以上になってしまうときは、場の1枚のカードだけで勝負するか、場に出ている自分のカードを、1回だけ交換できます。交換のしかたは、場の自分カードを山の下にもどし、山の上から1枚ひいて、表にして自分の場のカードにします。
※それでも『11』以上になってしまうときは、場の1枚のカードだけで勝負します。
- ②場に出している2枚の「どこドラカード」では勝てないと思ったら、1番の人から順番に、山の上から「どこドラカード」を1枚、表向きにして足します。
※「どこドラカード」はLVを足して『10』をこえないかぎり、山から何枚でも足すことができますが、『11』以上になったら、そこでストップし、もう山から足すことはできません。自動的に負けとなります。
※同じ「タイプ」（山、祭など）か、「地方」「イラストコンテスト」のいずれかが、3枚続いたら、「嵐」となり、LVの合計に関係なく、超最強（10より強い）となります。（連続していないときはダメです）
- ③それぞれ、場に出されたこの「どこドラカード」で勝負するかを確認します。これで勝負する場合は、同時に裏向きになっておかれている「どこドラカード」1枚を表にし、自分が出した全ての「どこドラカード」のLVを足します。合計の数が大きいプレイヤーの勝ちです。（『11』以上は負けです。）
※全員『11』以上になったときは、引き分けです。

【勝ちのとき】

場に出されている全ての「どこドラカード」がもらえます。これが勝ったポイントになります。
※勝ちが2人以上のときは、ジャンケンで決め、勝った人が全てのカードをもらえます。
※もらったカードは、手持ちに加えてはいけません。

【負けのとき】

場に出したカードを全て取られてしまいます。

【引き分け】

誰のポイントにもなりません。場に出ている「どこドラカード」は、ゲームには使わないので、じゃまにならない所におきます。

- ④自分の「どこドラカード」の山から1枚手持ちに加えます。（常に3枚持ちます）ゲームスタートの①から、くりかえしプレイします。

ゲームの終了と勝敗

- 「どこドラカード」の山が無くなったらゲーム終了です。
- ※勝負の途中のときは、山の代わりに手持ちカードを無くなるまで足して、勝負を決めます。
- ※①のときに、人数分のカードを場におけないときは、そこで終了し、誰のポイントにもしません。ポイントとして取った「どこドラカード」の枚数が多いプレイヤーの勝ちです。

6

どこドラカードゲームの遊び方

必要なもの：どこドラカード66枚・

どこドラカードゲーム遊び方カード①～③

プレイ人数：2人

どこドラのタイプで勝ち負けを決める、対戦ゲームだよ!

シングルエリア・ルール

- ①カードの中から、好きな地方を1地方選びます。相手と同じ地方は、選ばません。（イラストコンテスト・売場限定カードも、それぞれ1つの地方とします。）
- ②その地方のカードの中から、5枚選びます。ただし、5枚のカードの合計レベルが、20以内になるように選んでください。5枚の合計レベルが21以上になってはいけません。（レベルは、カードの右上に、LV.と書いてある数字です）
- ③ウラ向きのまま、カードをよく切って、手元においてください。
- ④手元のカードの上から、相手に見えないように2枚手に持ち、どちらか1枚を『どこドラ、ドン!』の合図で2人同時に出して、相手に見せます。
- ⑤カードの左上に描いてあるタイプを比べて、強い方が勝ちです。タイプの強さは、遊び方カード②に書いてある『カードレベル一覧表』を見てください。

ダブルエリア・ルール

- 2つの地方のカードの中から、10枚選んでプレイします。ただし、10枚の合計レベルは40以内です。10枚全部のカードを出し終えて勝負を決めます。それ以外の遊び方は、シングルエリア・ゲームと同じです。
- ※ただし、中部地方と、イラストコンテストは、他の地方と合わせなくてもOKです。（例えば、「中部 VS 北海道+東北」など）

お客様へ

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。弊社では、より良い製品をお届けするために、常に研究・改良をおこなっています。そのため、生産ロットにより多少仕様や色合いが異なる場合がございますのでご了承ください。品質には万全を期していますが、万一お気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。
〒300-4193 茨城県新治郡新治村藤沢3647番5
(株)エポック社 お客様サービスセンター
TEL 029-862-5789
〔電話番号は間違いないよう、よく確かめてからおかけください〕
〔電話受付時間〕月～金曜日（祝・祭日を除く）10時～12時、13時～17時